



発行
公益社団法人福島県防犯協会連合会
福島市山下町5番28号
☎024-535-8499
☎024-534-7070
http://www.bouhanfukushima.com
印刷 (株)民報印刷

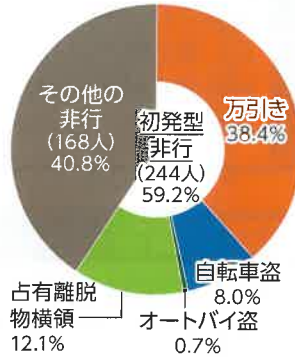
みんなで作ろう安心の街

少年の非行と犯罪被害を防止するために

万引き・自転車盗 等は非行の入口

万引き・自転車盗・オートバイ盗・占有離脱物横領は、初発型非行といわれ、ちょっとした動機から安易に行なわれると、罪悪感もなくなつて、本格的な非行に至る入口になりやすいといわれています。

県内の刑法犯少年
(平成28年・412人)



万引きや自転車盗等は許されない犯罪であることを、子どももしっかり教え、安易な気持ちで他人の物に手を出すことのないよう、よく理解させましょう。

万引きなどの動機として「イライラして」「スリルを味わいたくて」「友だちに誘われて」など、些細なことに見えますが、根本には家庭の問題や人間関係の悩み、自分自身の悩みなどがあります。

物事の善悪をしっかりと教えるとともに、その背景にある悩みに耳を傾けてみましょう。

日頃から子どもの言動に関心を持ち、子どもとしっかり向き合っていくことが大切です。

子どもの万引きが分かったら

子どもの万引きが分かったら、保護者はいっしょに店に行って謝り、許されない犯罪であることを教えましょう。親の態度が子どもの反省を引き起こします。

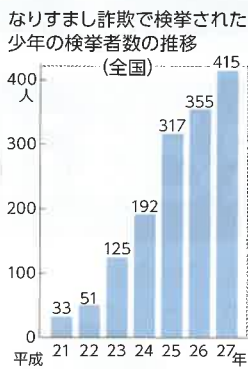


なりすまし詐欺に 加担する少年が急増

近年、なりすまし詐欺(特殊詐欺)で検挙された少年が急増しています。(左のグラフ)

そのうちの約7割は「受け子」と呼ばれる現金の受け取り役であり、少年が甘い誘いに乗って犯行に加担し、道具として首謀者らに利用されているのです。

『現金や書類を受け取るだけの高額なアルバイト』などの甘い誘いには乗らないよう、家庭などで指導をお願いします。



児童ポルノ事犯の 被害少年が続出

県内ではインターネットを利用して児童ポルノ禁止法違反事件等の被害者となる少年が後を絶ちません。

特に最近では『自撮り被害』だまされたり脅されたりして児童が自分の裸体を撮影させられたうえ、メール等で送られる被害』が、増加傾向にあります。

県警では、インターネット被害防止標語「あとがこわい」を合言葉にして被害防止を訴えています。

スマホの約束6か条 ~スマートフォンを利用して~

- あ 会わないで! (知らない人と)
- と 撮らないで! (自分の裸を)
- が 画像を送らないで!
- こ 個人情報を載せないで!
- わ い悪口を書き込まないで!
- い いじめないで! (ネットを使って)

「スマホの約束6か条」は、スマホ用の待受画面に設定できます。くわしくは福島県警察のホームページへ

フィルタリングを 利用しましょう

フィルタリングとは、インターネット上のウェブサイトを等から、青少年に有害な情報を閲覧できなくするサービスです。(携帯電話事業者等)



安全・安心なまちづくり



地区防犯協会・ボランティア団体の活動紹介

鏡石地域安全パトロール隊

鏡石地域安全パトロール隊は、鏡石町地域安全推進委員及び防犯指導隊員、9班28名体制で構成されています。週に1回、各班持ち回りで青パトを使用した町内の防犯パトロールを実施しているほか、2ヶ月に1度、防犯対策会議定例会を開催し、活動内容の報告や犯罪の発生状況を確認して、今後の防犯活動に役立てています。



会津坂下地区少年警察ボランティア協会

会津坂下地区少年警察ボランティア協会は、渡部孝一会長以下15名で組織され、学校や他のボランティアなどと連携し、祭礼時の防犯パトロール、風俗店への立入や駅・学校・スーパー等において児童・生徒との広報啓発活動等を通じて、地域における青少年の健全育成と安全・安心の確保に貢献しています。



相馬地区西部防犯協会

相馬地区西部防犯協会は、昭和57年8月23日に結成した団体で、西部地区は相馬市中心街に位置しています。年間の活動計画を策定し、防犯パトロールと広報を重点に行っています。年に2回は、地区内を一戸一戸訪問し、地域住民と顔を合わせながら防犯指導し、安全・安心の醸成に努めるなど、自主防犯意識が根付いています。



平成29年地域安全 作文を募集しています

平成29年の地域安全運動は10月11日(水)から20日(金)までの10日間全国一斉に行われます。この運動に向けて、今年も地域安全作文を募集しています。

応募者は、小学生と中学生になりますが、優秀な作品については表彰するほか、県内の地域安全活動の広報資料として活用されます。

● 締切り

平成29年8月28日(月)まで
各地区防犯協会事務局必着

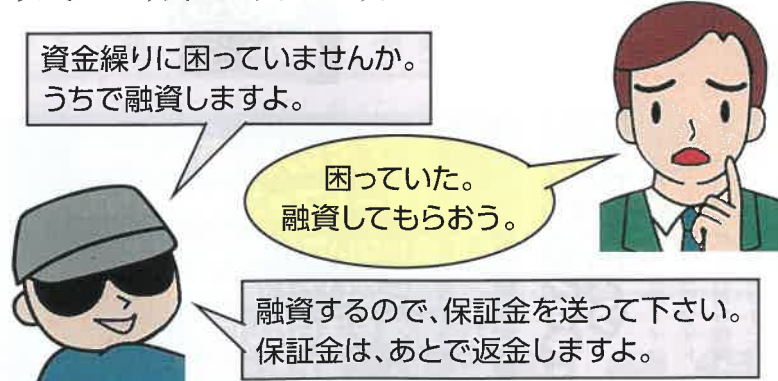
募集の詳細につきましては、公益社団法人福島県防犯協会連合会のホームページをご覧ください。

<http://www.bouhanfukushima.com>

福島県防犯協会でも検索できます

融資保証金詐欺とは?!

今年に入り、県内で融資保証金詐欺が増加しています。詐欺にあわないよう気をつけましょう。



● 融資を受ける際に、保証金や手数料、返済実績作りの送金などを要求されたら、**詐欺**です! おかしいと思ったらすぐ警察などに通報・相談してください。 **警察安全相談#9110**

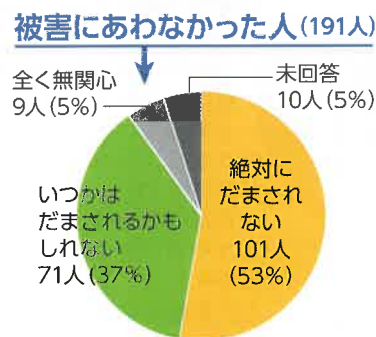
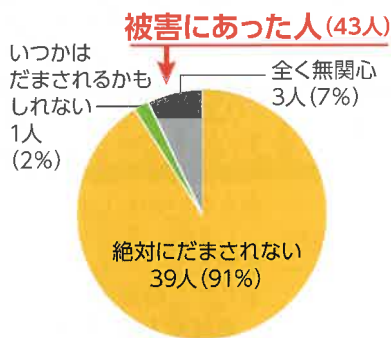
「だまされない」と思っている人ほど被害に?!



なりすまし詐欺の電話を受けた人へのアンケートから

(昨年5月から今年2月までに詐欺の電話を受けた234人を対象)

被害者の91%が「絶対にだまされないと思っていた」
県警調査結果



県警本部生活安全企画課が、県内のなりすまし詐欺の電話を受けた人のうち、被害にあった43人と、被害にあわなかった191人の聞き取りアンケートをまとめました。

その結果、「自分は絶対にだまされない」と思っていたと答えた人の割合が、被害にあった人では91%に上った一方、被害にあわなかった人では53%にとどまったことがわかりました。

同課は「詐欺への警戒心や危機感が薄い人ほど、被害にあいやすい傾向がある」として注意を喚起しています。

被害にあった理由についての回答(一部)

- 「声が息子に似ていた」
- 「誰かに話したら大変なことになると言われ、相談できなかった」
- 「相手が弁護士を名乗っていたので信用してしまった」
- 「今日中に手続きが必要と言われ、あせってしまった」
- 「息子の借金返済(ウソ)で気が動転した」
- 「自分は絶対にだまされないと思っていた」

虐待：子どものサイン

- いつも子どもの泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴る声が聞こえる
- 不自然なあざ、打撲、やけどなどが見られる
- 衣服や身体が、著しく不潔である
- いつもひとりで長時間外にいたり、徘徊している
- ちゃんと食事をとっていない様子である



子どもが「虐待を受けている」と思われる時は児童相談所等に早急に通告してください。児童虐待防止法では通告が義務づけられています(通告した人の秘密は守られます)。地域ぐるみで虐待を防止しましょう。

**児童虐待の疑いが
ある時は迷わず通報を!**

ストーカー防止のために

ひとりで悩まず、警察に相談しましょう

「ストーカー規制法」

繰り返すつきまとい等の「ストーカー行為」に対して警告や禁止命令などの措置がとられ、防犯指導やパトロールなどが行われます。



平成28年中に全国の警察へ寄せられたストーカー事案の相談件数は2万2,737件に及び、4年連続で2万件を超えました。

ストーカー規制法に基づく警告は、3,562件に上り、2000年の同法施行以降、最多となっています。

《《補導員の手記》》

子どもと温かい食事を

私は、街頭補導や少年面接などで様々な境遇の子どもたちと出会いますが、子どもたちと接する中で強く感じたことは、「食生活の乱れ」です。

街頭補導中に会う子どもたちの中には、家で食事を食べずに、友人と一緒にファストフードや菓子類を食べて過ごしている子どもがいます。

朝食を食べないどころか、まともな食事をしない、できない子どもたちが多く感じました。

母親から虐待を受けていた少年Aは、祖父、両親、兄弟の大家族で、母親から兄弟の面倒を見るように言われ、勉強道具を没収されることもありました。Aは、学校から帰宅すると、食事の用意をさせられ、家族に料理を取り分けると、自分が食べる分はほとんど残っておらず、鍋にこびりついたものをこそぎ取って食べていました。

Aが施設に保護された日、用意してもらった1人前の食事を食べ終わると、「初めてこんなに食べた」「おいしかった」と喜んで笑顔を見せていたと施設の方に伺いました。その様子を聞いて、安心したと同時に、満足に食事ができない子どもがいる現状に胸を痛めました。

また、街頭補導中に会った少年Bは、親に食事の用意してもらえず、朝食を食べずに学校に登校していました。家では冷凍食品やチルド食品を食べており、唯一、栄養バランスの取れた温かい食事を食べられるのが学校の給食であり、親との関係性も希薄で、普段の生活態度は落ち着きがありませんでした。

立ち直り支援活動の一環としての作り体験教室を実施した際に、参加した少年Cは、一人親家庭で、忙しくしている親に甘えられず、試し行動をするようにわざと怒られるような言動を繰り返し、毎日のように親や先生から指導を受けていました。

体験教室では、楽しそうにお菓子を作り、保護者宛てのメッセージカードを一生懸命に書いている姿が印象的でした。作ったお菓子は、家族で食べ、久しぶりに家族で楽しく食事をしたと話していました。

私たちの身体は、食べたもので作られています。口に
する物が、ファストフードや菓子類、添加物だらけの食
べ物ばかりでは、栄養の偏りや栄養不足で肥満や痩身、
情緒不安定になるおそれがあります。

「食育」が重要視されている現在、街中で出会う少年
にも「食育」は必要なものであると強く感じています。

現代は、核家族化が進み、両親が共働きであったり、
一人親であったりと、時間にも心にも余裕がない家庭が
多くなっているように感じます。忙しさのあまり、子ど
もと過ごす時間が取れず、子どもが孤食となっている場
合も多いかもしれません。

しかし、忙しい中でも、可能な限り、家族一緒に食卓
を囲んで、その日一日の出来事などについて子どもと話
をして、時間や感情を共有して欲しいと思います。

地域の方は、他人の家庭に介入することは困難ですが、
収穫祭や餅つき等、地域のイベントの際に、近所に住む
子どもたちに声を掛けていただき、一緒に御飯を食べる
ことのすばらしさを伝えて欲しいと思います。

私は、今後も、子どもや親子対象の体験教室を実施した
いと考えています。その中で、食べることの意義や親子
のコミュニケーションの重要性について伝えていきたい
と思います。

食事で得られるものは栄養だけではなく、おい
しさを感ずることもできますし、家族や仲間と食
事をすれば、楽しさも感ずることができるとい
うでしょう。また、手作りの食事は、愛情を感じさせることができ、そ
れは、子どもたちだけでなく、私たち大人の心の安定に
も繋がるでしょう。

家族みんなで、栄養も愛情もたっぷりの温かい食事を
とってみたいかがでしょうか。



福島警察署
副主任少年警察補導員
●●●●●●●●
坂本 晴香

**車上ねらい
急増中!**

今年に入って、県内の「車上ねらい」被害が急増しており、
その約7割以上が無施錠の車内から被害にあっています。

車の窓やカギは必ず閉めましょう

また、外から見える所にカバンやサイフを置かない、
明るく、人目につく場所に駐車するようにしましょう。



賛助会員募集中

公益社団法人福島県防犯協会連合会では、より充実した活動を行うため、賛助会員を募集しています。入会手続きは、当協会ホームページをご覧になるか又は事務局までお問い合わせください。電話 (024) 535-8499

自転車防犯登録

自転車の防犯登録は、法律によって義務づけられています。自転車盗難被害の防止効果とともに、自転車の被害回復に役立つ**防犯登録を必ず行いましょう。**